

平成30年度  
あけぼの賞受賞者



(株)紫野和久傳  
代表取締役会長

くわむら あや  
桑村 綾さん

創業の地である京丹後の食品  
工房敷地内に植樹を行い  
「和久傳の森」を整備。食品工  
房のほか、美術館やレストラン  
を建設し、文化による地域振  
興に貢献



塗師

なかむら そうてつ  
中村 宗哲さん

千家十職、中村家の13代当  
主として伝統文化を継承する  
とともに、現代に即した漆器利  
用の提案や他分野の芸術家  
とのコラボレーションなど文化  
振興に貢献



京都大学こころの未来研究  
センター教授(初代センター長)

よしかわ さきこ  
吉川 左紀子さん

専門の異なる研究者が「こ  
ころ」に関する研究を連携して  
行うという他に類がない組織を  
まとめ、その成果を社会に発信  
する先駆的な取り組みを推進



京都の活性化、文化・観光PR活動

特定非営利活動法人  
きょうこまちおど こたえ  
京小町踊り子隊プロジェクト

振袖を着た女性たちの踊りを  
通して、京都をPRする活動を  
国内外で展開するとともに、  
オリジナルの簡単できれいに  
着られる着物の開発など和装  
振興にも貢献



女性スポーツ団体の統括

きょうと じょせい かい  
京都女性スポーツの会

競技の垣根を越えた全国唯  
一の女性スポーツ統括組織。  
今年度30周年を迎える。多種  
目の女性スポーツ団体間の交  
流を図る等、女性スポーツの  
振興に貢献

30周年記念シンポジウム ～女性がつなぐ文化と伝統 新しい京都に～



登壇者

村田 吉弘氏

株式会社菊の井代表取締役  
NPO法人日本料理アカデミー理事長  
一般社団法人全日本・食学会理事長

今 くるよ氏

よしもとクリエイティブ・エージェンシータレント  
京都府文化観光大使

西脇 隆俊

京都府知事

司会 村上祐子氏

KBS京都

30回の節目の年となる今年度は、「女性がつなぐ文化と伝統 新しい京都に」をテーマに、平成元年、第1回フェスティバル当時や、和食や演芸文化における歴史を振り返るとともに、新しい京都に向けて文化や伝統、そして地域の女性の活躍について話し合いました。

# 主催者挨拶



京都府知事

西脇 隆俊

*Nishiwaki Takatoshi*



「京炎 そでふれ!普及チーム」の燃えるようなエネルギッシュな演技とともに「第30回KYOのあけぼのフェスティバル2018」が幕を開けました。今年も府内各地から本当に大勢の方にお集まりいただきましたこと、心から感謝を申し上げます。

また、このフェスティバルが第30回という節目を迎えられましたのも、企画そして運営まで熱心に取り組んでいただいております田中田鶴子実行委員長をはじめ、実行委員の17団体の皆様、歴代の実行委員、関係する全ての皆様の御努力の賜物と深く感謝を申し上げたいと思います。

さて、本日「京都府あけぼの賞」を受賞される皆様、誠におめでとうございます。この賞は、男女共同参画によりまして豊かな地域社会を創っていくため顕著な功績のあった女性を顕彰するものであり、また今年、第30回の節目ということで、男女を問わず長い間の御功績、御活躍のあった方々に「特別賞」を御受賞していただく予定でございます。皆様方のこれまでの御努力・御功績に対しまして深く敬意を表しますとともに、今後も更なる御活躍を心からお祈りしております。

今年のフェスティバルは、「女性がつなぐ文化と伝統 新しい京都に」というテーマで、このあと記念のシンポジウムがございまして、私も日本料理アカデミーの村田理事長と、今くるよ師匠と参加させていただきます。どういう話の展開になるのかちょっと想像がつかず楽しみではありますが、頑張っってシンポジウムに臨みたいと思っておりますし、それ以外にもワークショップやバザール等も催されますので、なるべく多くの催しに参加していただきまして、様々なことについて意識を深めていただければありがたいと思っております。

これから日本は、今までに経験したことのない少子高齢化・人口減少社会になります。政府が進めております働き方改革も、今後、高齢者や女性の方などにもっと社会に出て活躍することができるようにすることで、働き手も確保していこうということの一環だと、我々は理解しております。そして、ここで重要なのは、女性の意識もさることながら、実は男性の方が意識改革や働き方改革を必要としているということです。今後とも誰もが輝くことができる男女共同参画社会が進むような環境づくりに努力して参りますので引き続き皆様方の御協力をお願い申し上げます。

結びに当たり、このフェスティバルが、男女共同参画社会づくりにとって実りあるものとなるとともに、御列席の皆様の御健勝、御多幸を心からお祈りをいたしまして、冒頭の御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



KYOのあけぼのフェスティバル  
実行委員会委員長

田中 田鶴子

*Tanaka Tazuko*



本日は「第30回KYOのあけぼのフェスティバル2018」を開催いたしましたところ、御来賓の皆様方をはじめ多くの方々にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

そして、本日栄えある「京都府あけぼの賞」、また「あけぼの賞30回記念特別賞」を受賞されます皆様方、心からお祝い申し上げます。各分野で先進的に活躍され、第一線で輝いておられる女性の皆様、そして長年、男女共同参画に御尽力された皆様が、その御功績により表彰の栄に浴され、今後一層の御活躍が期待されるところでございます。改めまして、心から御受賞をお祝い申し上げます。

さて、今年度のフェスティバルは、30周年の節目の年ということで、「女性がつなぐ文化と伝統 新しい京都に」をテーマとし、菊乃井の村田吉弘様、漫才師の今くるよ様をお招きいたしまして、京都府知事西脇隆俊様とのてい談を企画させていただいております。和食や芸能をはじめ、歴史とともにここ京都で育まれてきた文化について語り合っただき、さらに伝統や文化をつないでいく機会となりますよう、実行委員会の皆様と企画・検討を重ねてまいりました。

また、午後からは、地域や職場において活躍いただいている女性団体等による工夫を凝らした参加型のワークショップを企画いたしております。

さらに、京都府産の新鮮野菜や手づくりの品、府立高等学校の成果物等が販売されるバザールを開催させていただきます。今年度は、バザール会場横のフードコート内においてミニライブコンサートの開催、そしてスタンプラリーも実施いたします。

30回までのあけぼのフェスティバルを思い起こすスライドショーの上映も行いますので、一人ひとりが地域や家庭、職場において輝くことができる男女共同参画社会の実現に向けて、これまでを振り返り、御参加の皆様にとりましても新しい一步を踏み出される契機となれば、大変嬉しゅうございます。

最後になりましたが、今年度も、多くの企業・団体の方々に御協賛をいただき、KYOのあけぼのフェスティバルがこのように盛大に開催できましたことに御礼申し上げまして私の御挨拶といたします。

## 来賓祝辞



京都府議会議長

村田 正治 様

Murata Masaharu



「第30回KYOのあけぼのフェスティバル2018」が、多くの関係者の御参加のもとに、盛大に開催をされますことを、心からお慶びを申し上げたいと思います。京都府議会からは山口副議長をはじめ、多くの議員が寄せていただいておりますが、私から京都府議会を代表いたしまして、心から御挨拶を申し上げたいと思います。

本日、栄えある「京都府あけぼの賞」を受賞されます皆様、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げますとともに、皆様方は、それぞれの分野において、女性活躍の推進のために、著しい御功績をあげられた方々でございまして、その御活躍と御労苦に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

また、本フェスティバルが、本年もこのように府内各地、そして多方面から御参画を得て開催されますのも、田中田鶴子実行委員長をはじめとする関係者の皆様方の御尽力の賜物でございまして、心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。

さて、女性の社会参画は、様々な分野におきまして、着実に進んできてはおりますが、出産・育児と仕事の両立や、男女間の役割分担に対する社会的意識の解消など、女性がいきいきと活躍することのできる環境を整備していく上で、まだまだ取り組むべき課題もたくさんあるものと思っております。

一方、少子高齢化によります人口減少社会を迎える中、女性が安心して出産や子育てをしながら、その能力を最大限に発揮して、社会の様々な分野で活躍できる社会を築いていくことは、今後、我が国が更なる成長・発展をしていく上で、必要不可欠であると存じております。

本日、御参加の皆様は、これまでから地域においてそれぞれの分野で素晴らしい御活躍をしておられますが、どうか今後とも地域はもとより京都府、そして日本を元気にするために一層の御尽力をいただきまして、女性が個性と能力を存分に発揮をし輝くことのできる社会の実現のために、ますます御活躍をされますことを心から御期待を申し上げる次第でございます。

京都府議会といたしましても、今後とも、地域や職場で女性が一層活躍することのできる支援の充実など、女性の活躍推進を図るための取組に積極的に努めますとともに、全ての府民の皆様が、幸せを実感し将来に希望を持ちながら、いきいきと暮らすことのできる地域社会の実現に向けまして、引き続き全力で取り組んでまいります。

結びに当たりまして、本フェスティバルの御成功と、本日、御臨席の皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈りを申し上げまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。